

# 「住宅用太陽光発電の普及活動について （電気は買うよりつくる方が安い）」

1-1.住宅用（10KW未満）太陽光発電の導入状況

1-2.住宅用（10KW未満）太陽光発電の普及率について

1-3.検討者層の変化

1-4.検討者層の変化

2-1.自立運転機能周知動画のご紹介

3-1.私達をとりまく生活環境の変化

3-2.電気代の比較

3-3.電気代の構造

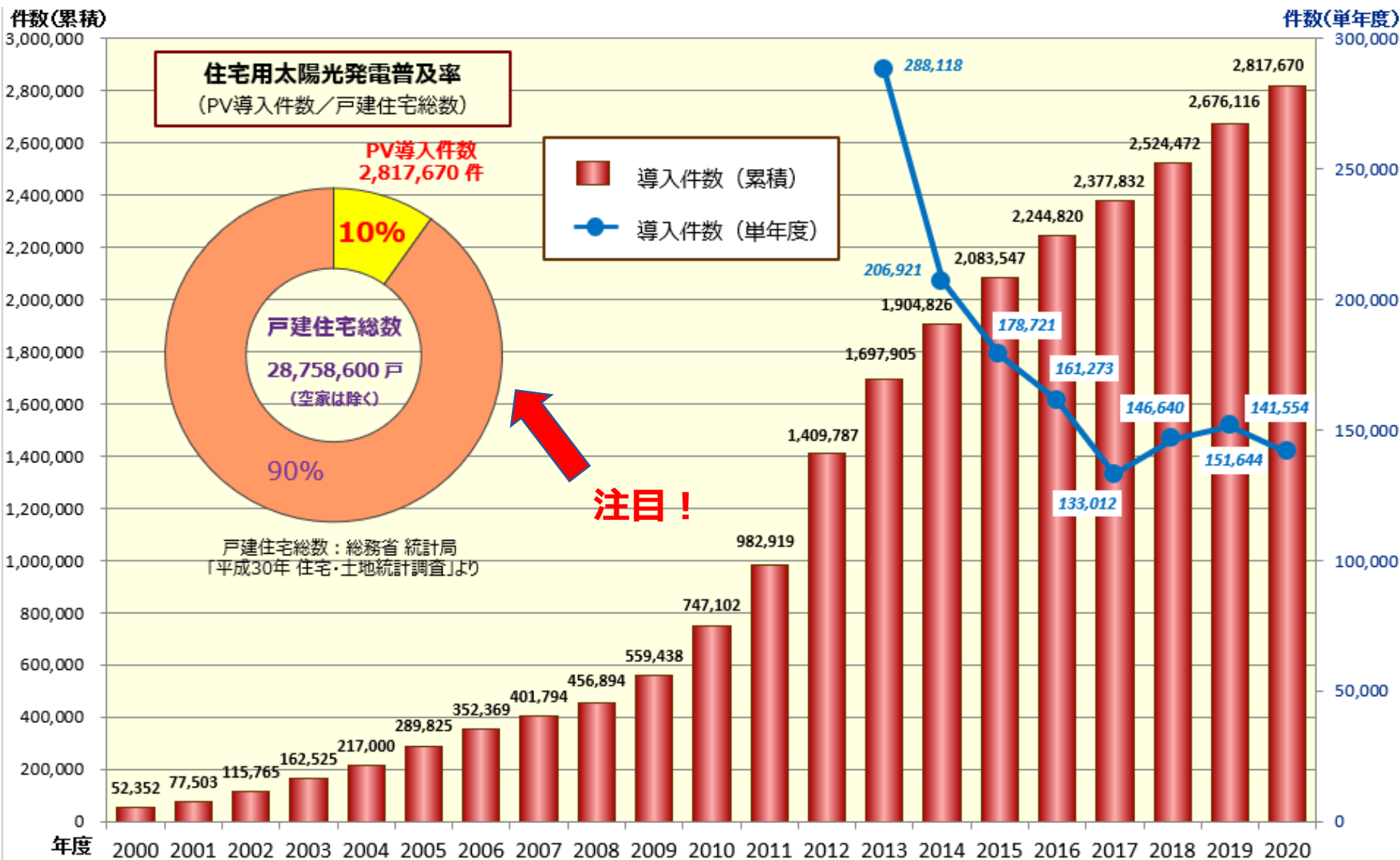
4-1.普及促進動画のご紹介

4-2.フライヤー（普及促進動画）のご紹介



一般社団法人 太陽光発電協会  
住宅部会 普及促進WGリーダー  
高橋卓也

# 1-1.住宅用（10KW未満）太陽光発電の導入状況

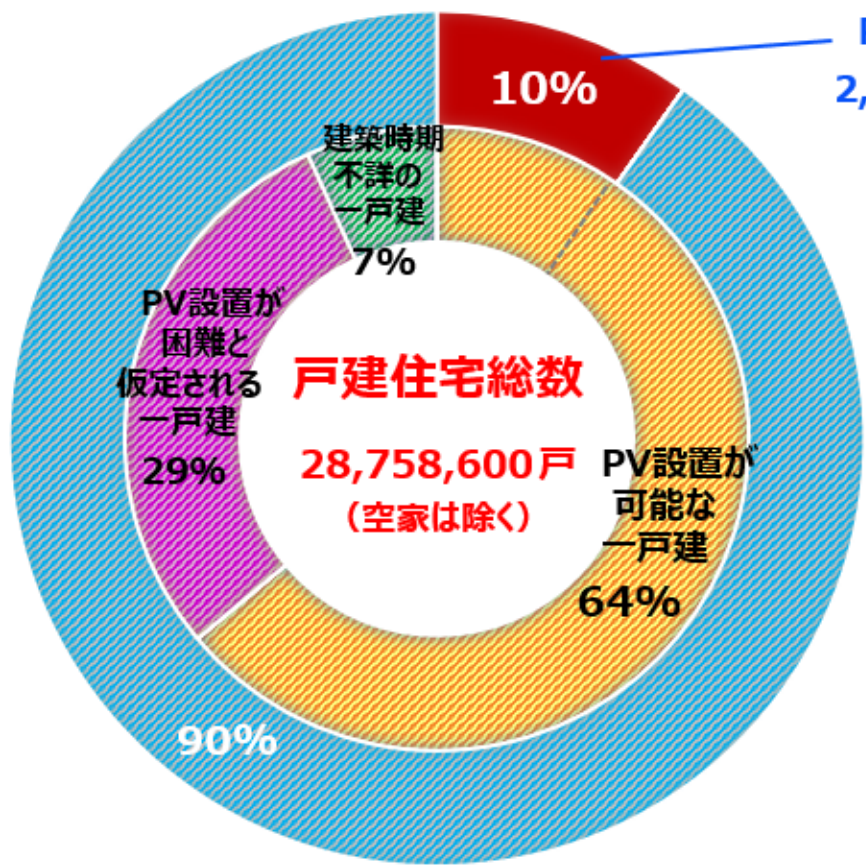


1996～2005年度：財団法人 新エネルギー財団（NEF）の補助金交付実績より  
 2006～2008年度：一般社団法人 新エネルギー導入促進協議会（NEPC）による調査より  
 2008～2011年度：太陽光発電普及拡大センター（J-PEC）での補助金交付決定件数より JPEA集計  
 2012～2020年度：経済産業省（METI）HP「なっとく再生可能エネルギー」設備導入状況資料より

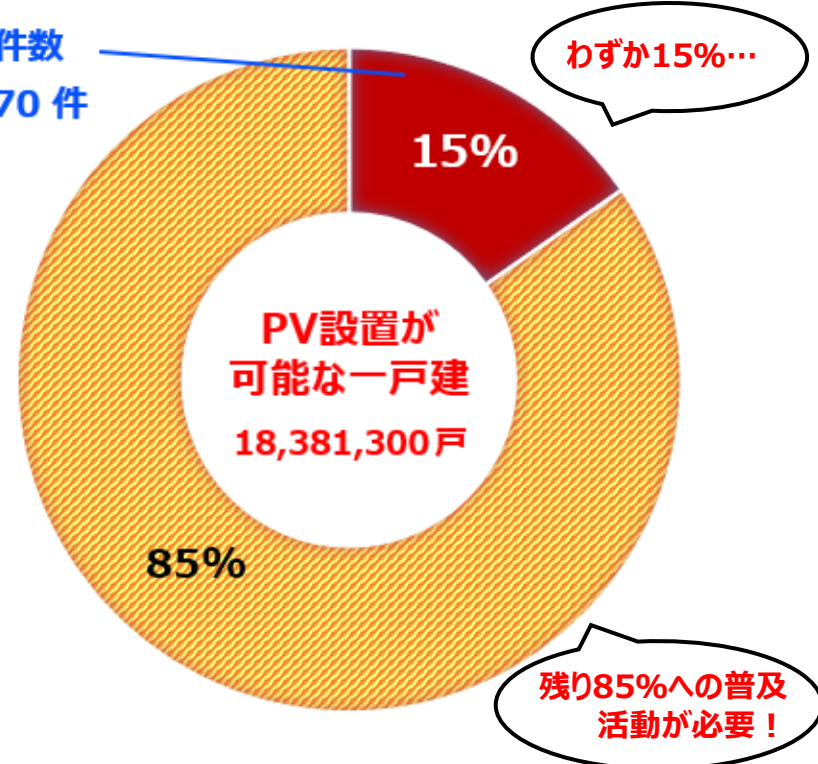
# 1-2.住宅用（10KW未満）太陽光発電の普及率について

第1回調達価格等算定委員会の資料によれば、日本全国の一戸建の総数（空家は除く）のうち昭和55年以前の耐震基準しか満たしていない一戸建は、太陽光パネルを屋根に設置することは困難と仮定されている。

平成30年住宅・土地統計調査に基づいて分類すると、設置が困難と仮定される一戸建、及び建築時期不詳の一戸建を除いた全体の約64%は、太陽光発電が設置可能と仮定して、PV普及率を算出。



PV導入件数 / 戸建住宅総数

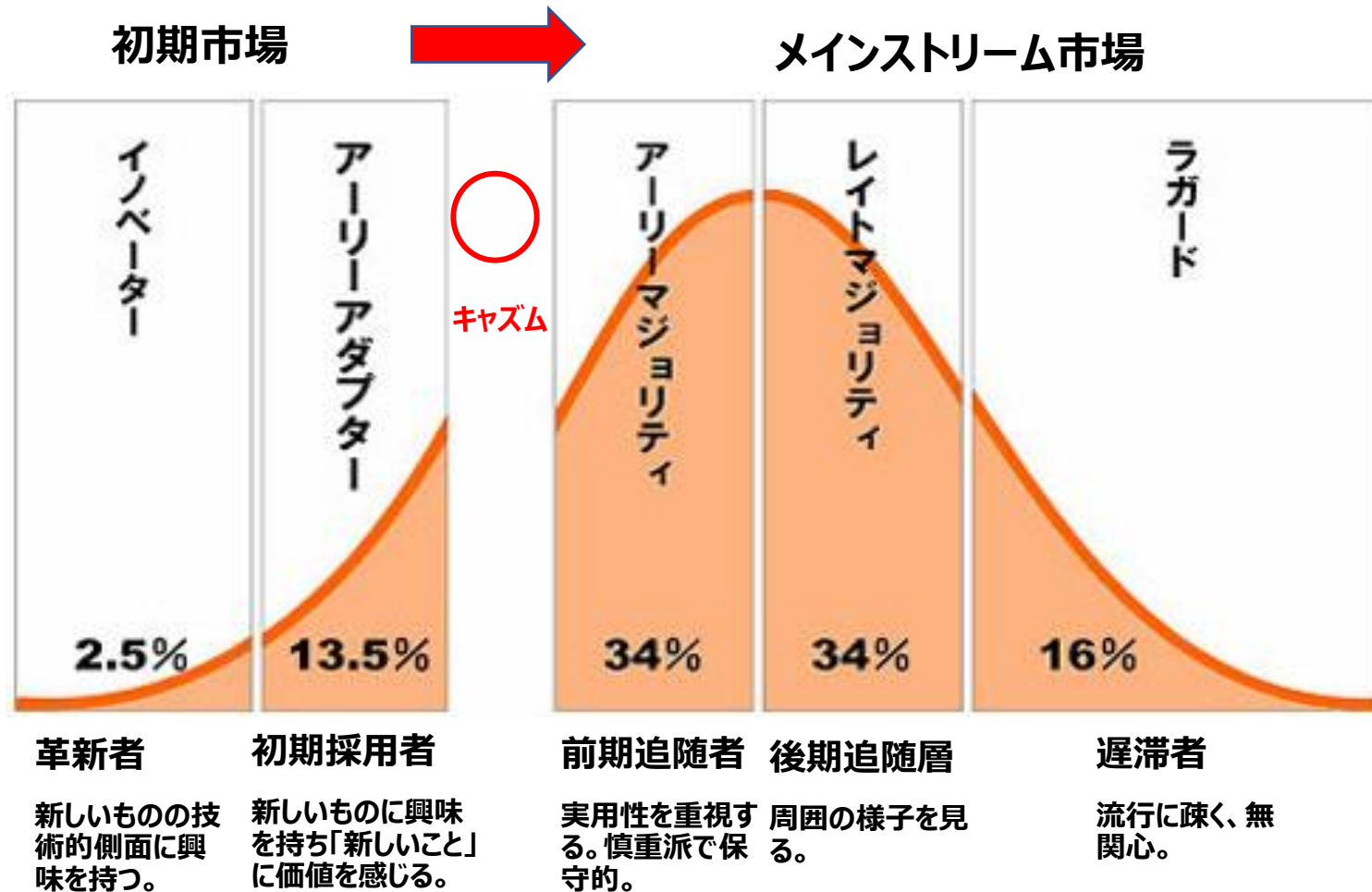


PV導入件数 / PV設置が可能な戸建 戸数

わずか15%...

残り85%への普及活動が必要!

# 1-3. 検討者層の変化



検討者層が、**アーリーアダプター層（初期市場）** から **アーリーマジョリティ層（メインストリーム市場）** へと移行している。移行するためには **キャズム（溝）** を乗り越える必要があり、2つの市場は全くの別物と考える必要がある。

# 1-4. 検討者層の変化

購買決定プロセス「AIDMA」に応じたコミュニケーション目標



初期市場では、「注目 (A) と興味 (I) 」への訴求が必要、

メインストリーム市場では、「欲求 (D) 」への訴求が必要、訴求ポイントが異なる。

## 2-1. 自立運転機能周知動画のご紹介



こちらの動画は下記YouTubeチャンネルよりご覧いただけます。

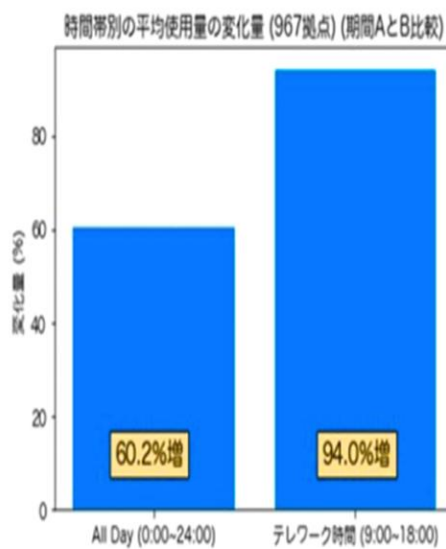
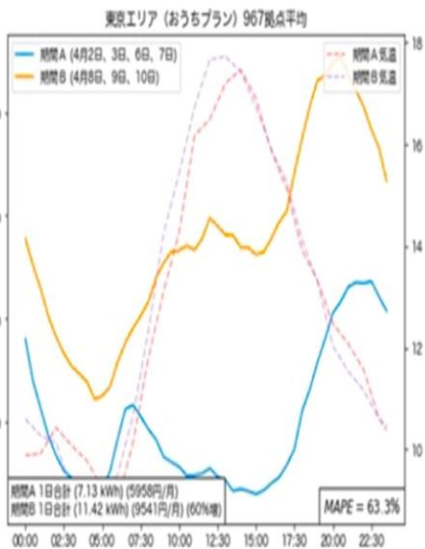
チャンネル : <https://youtu.be/zpug7dfmVdU>

動画URL : (フル版) <https://www.youtube.com/embed/zpug7dfmVdU>

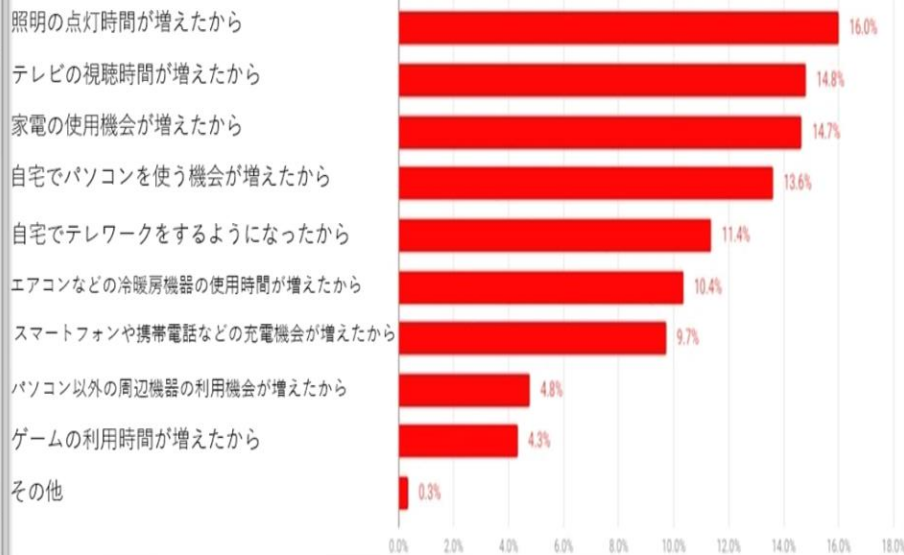
: (短縮版) <https://youtu.be/YOUs2bw7ROg>

# 3-1. 私達をとりまく生活環境の変化

緊急事態宣言発出前後で、電気代が月3,493円増



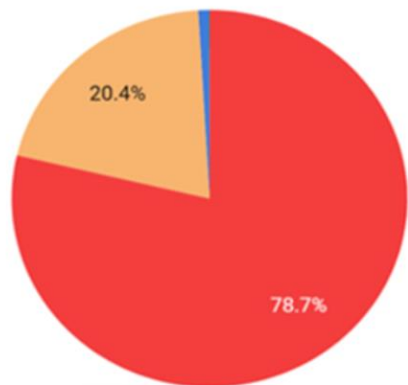
例年より電気代が上がったと感じる理由



58%が例年より電気代が上がったと実感、理由の1位は「照明の点灯時間が増えた」

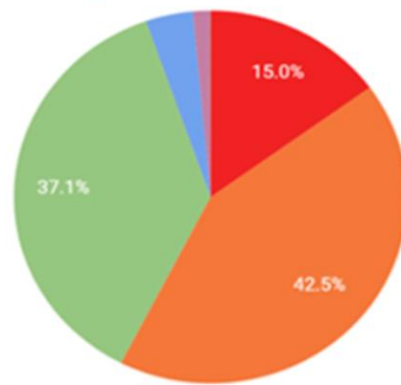
緊急事態宣言前後での在宅時間の変化について

● 在宅時間が増えた ● 変化はない ● 在宅時間が減った ● その他



例年と比べて電気代の変化を感じていますか

● かなり上がった ● 少し上がった ● 例年とあまり変わらない ● 少し下がった ● かなり下がった



**新型コロナウイルスが私達の生活の内、電気代に大きな影響を与えています！**

### 電気料金と発電コストの単価比較（全国平均）



※電気料金の平均単価は 資源エネルギー庁 調達価格等算定委員会の調査によると2019年度の全国平均単価は24.76円/kWh（税抜）。再生可能エネルギー発電促進賦課金は含んでおりません。

※太陽光発電でつくる電気の単価約17.7円/kWh（税抜） 資源エネルギー庁 発電コスト検証ワーキンググループ（令和3年9月報告書）より引用。

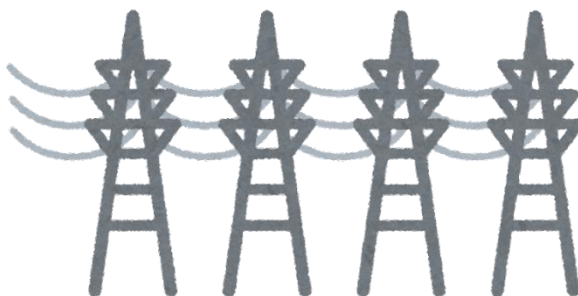


発電コスト



+

送配電コスト



+

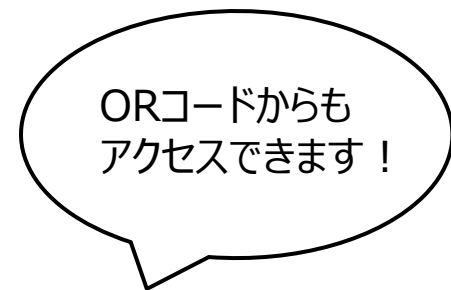
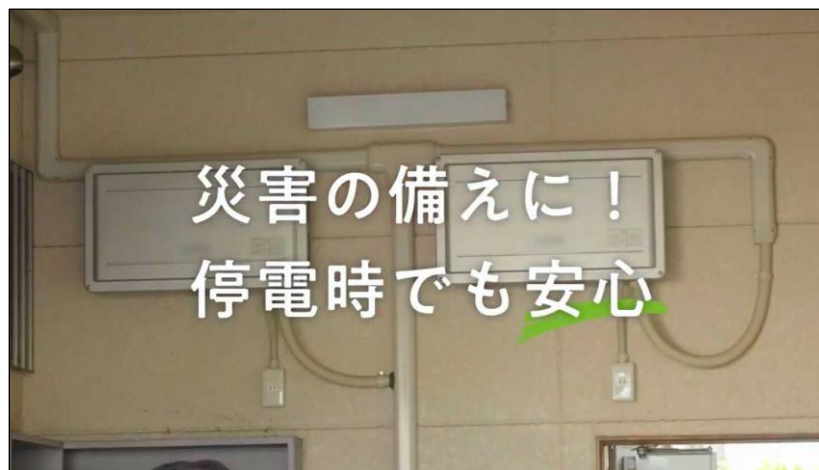
賦課金



自分でつくったら  
ここだけで済む！

環境負荷も  
かけない！

# 4-1. 普及促進動画のご紹介



こちらの動画は下記YouTubeチャンネルよりご覧いただけます。  
チャンネル : <https://youtu.be/zpug7dfmVdU>  
動画URL : <https://youtu.be/caYRaYn9NxY>



# 4-2.フライヤー（普及促進動画）のご紹介

電気は**買う**より**つくる**方が**安い!**※

電気は自分でつくる時代

インタビュー動画公開中!

災害への備えや停電時でも

電気をつかって自分の家で使う! 太陽光発電生活が広がっています!

<https://youtu.be/caYRaYn9NxY>

※電気料金と太陽光発電システムの発電コストの単価比較(全国平均)において

**昼間は太陽光発電で電気がまかなえています**

太陽が照っている時間は、電力会社に電気代は払っていません。十分な日照があれば、エアコンくらいはまかなえますよ。もっと早くつけば、よかったです!

**家族が多いので、月々の電気代が高く困っていました。昼間、発電した電気を電気自動車に貯めて、夜に使う。電気代は、かなり削減できていますよ。**

**自宅の電気代を少しでも安くできれば!**

インタビュー動画公開中!  
<https://youtu.be/caYRaYn9NxY>

スマホでアクセス!

**いざ、停電になって困るのは家族**

停電になっても、自動で蓄電池の電気に切り替わるシステムを導入しました。私がいなくても停電になっても大丈夫。もしもの時に電気が使えるのは、安心ですね!

**太陽光発電システムを導入した理由は、自家消費。自分でつくった電気を自分の家で使う。太陽光はみんな平等に得られるエネルギー。活用しないのは、もったいないですね。**

**自分の家で使う電気は自分でつくれる**

太陽光発電は自家消費の時代   
<http://www.jpea.gr.jp/>

JPEA 太陽光発電協会  
Japan Photovoltaic Energy Association

フライヤーのQRコードからも簡単にアクセスすることができます!

全国の自治体にフライヤーを配布していますので、  
ご要望の方は弊協会までご連絡をいただけますと幸いです!